

『一心千里』

走っていていれば、 見えてくる

永田 隆一



■ 第1回 ■

代の漢詩に出てくる言葉でした。いろいろな意味があるようです。そして、とても良い意味ばかりだと言ったことでした。

私は、「テクノロジーとビジネス・モデルをメインの材料として、市場に価値を認めてもらえる新しいもので勝負しよう、仲間の想像力と企画

界銀行は、経済運営誘導の基本合意として、『ワシントン・コンセンサス』を発表しました。①貿易の自由化②規制緩和③国営企業の民営化など一〇項目から構成されており

ンセンサス』と呼ばれる国策・経済成長の指針をまとめました。民主化と自由化を段階的に進めるというものです。

原理原則を忘れていたのではありませんか。『神楽坂コンセンサス』弊社がオフィスを置く新宿区神楽坂は、山手線のちょうど中心に位置し

⑥プロジェクトで集まる時限設定のあるチームが、最短で最高の結果を出せる
ニーチェの言葉「血で書かれたものは、暗唱されなければならぬ」と、私の仲間は暗唱いたしました。

「神楽坂コンセンサス」 価値観再考

りながら、起業を集中して考えました。その店には、『一心千里』と木彫

力とを一つに集中させて『一心』、困難で不確実で壮大な規格破りの結果『千里』を本気で求めよう」と訳しました。

いわれる金融危機を招き、現在、破綻しました。かたや、めざましい経済成長を実践している中国では、アメリカの国策

さて、我が国日本の政府の現状は、軸足がさだまらない、国会での稚拙なやりとり……。国民に選ばれた代議士は、『国民の幸せを通して、国際社会に貢献する』という

①企業とは、社員の幸せを通して社会に貢献する
②真に大切なことを徹底して深く、深く考える
③組織は小さく、ネットワークは大きく
④困難な道にこそファンタジーがある
⑤心のトゲを抜いて、生きていくことを存分に楽しむ

『一心千里』とタイトルを改め、連載コラムを再開いたします。読者の皆様には、よろしくお付き合いいただきたたくお願い申し上げます。
(毎月掲載)

「数年前から『半導体』という言葉が、哀切なブルースに聞こえてしまします」ホテルのバーで聞いた言葉です。日本の企業は、半導体・液晶・PDP関連で、既存の技術や事業の延長線上スキームでの新製品では、もう利益や成長を享受できないのかもしれない。かたや、オバマ提唱の「グリーンニューディール」は、数年後一〇〇〇兆円規模に届くのではないかと

最近、中国への出張が増え始めた私を驚愕させた言葉です。その真意は

朝早くから、散歩をします。散歩・喫茶店また散歩・喫茶店の繰り返しです。銀閣寺の参道前の白川通今出川の大衆食堂で、ほぼ毎日、熱燗をや

〇km、遠方という地理的距離を指すのだろうか、時間的な、或いは概念における広がりを目指すのだろうかと考えました。

一九八九年、アメリカのワシントンに本部を置く、アメリカ政府、IMF(国際通貨基金)、世

仲間を幸せを通して、社会に貢献する

仲間を幸せを通して、社会に貢献する

仲間を幸せを通して、社会に貢献する